

毎日放送「たね蒔きジャーナル」打ち切りに抗議して、すみやかな番組復活を求めます。

毎日放送ラジオは、多くの聴取者と全国各地の放送関係者や市民から寄せられた多くの存続の声を顧みることなく、番組打ち切りを10月編成の記者会見で本日発表しました。

「たね蒔きジャーナル」は、ラジオ編成・番組センターの報道記者やアナウンサーたちが独自に取材したりポートや、その日の大事なニュースを取り上げて報道してきました。番組キャスターの水野晶子、千葉猛両アナウンサーが当事者や関係者に鋭く迫り、ニュースの真相を伝える稀有なラジオ報道番組として、ラジオ番組としては初めて坂田記念ジャーナリズム賞特別賞を受賞するなど、高い評価を受けてきました。

番組の聴取率も、それまでの野球中継ではライバル局に大きく負けているのに、「たね蒔きジャーナル」が始まった途端に逆転して勝つなど、この番組を聴くために毎日放送にダイヤルを合わせる聴取者が数多くいることを、明確に現しています。

このように優れた人気番組を、なぜ毎日放送は打ち切るのでしょうか？

以下、今回の番組打ち切りについての、私たちの考えを記します。

1. 番組の打ち切りは、関西圏はもちろん、北海道から沖縄そして海外からもインターネット上の署名サイト「署名TV」などに寄せられた五千人以上の聴取者の声を無視した、暴挙だと言わざるを得ません。
 2. ラジオの苦しい台所事情（売り上げの低迷による人件費や経費削減）を知り、番組を自分たちも支えようと、身銭を切り番組のスポンサーになろう！と申し出た数百人の熱い想いと、寄せられた一千万余のお金を軽んじた、あまりにも愚かな対応です。
 3. また番組打ち切りによって、こうした放送メディアに市民が「ある種の責任」を持つて参加する、新たな可能性を閉じてしまったことは、本当に残念でなりません。
 4. 毎日放送は「たね蒔きジャーナル」をつぶして、「平日夜の時間帯に長時間のワイド番組を編成しました。野球選手や漫才師、ミュージシャンなどが日替わりでパーソナリティーを務める予定」です。しかしこの大型番組も来春ナイター中継が始まれば終わるでしょう。わずか半年の番組のために「たね蒔きジャーナル」のような素晴らしい番組をわざわざ打ち切りにする理由があったのか？ 疑問でなりません。
 5. 午後6〜9時には大型新番組を編成して、午後9時からの「たね蒔きジャーナル」を続けるという選択肢もありました。そうしなかった理由を毎日放送には明らかにする責任があります。「たね蒔きジャーナル」をどうしても打ち切りたい特別な理由か、この番組に対する不当に低い評価があった、としか考えられません。
 6. じつは全国各地でラジオの聴取率が年々下がってきている大きな理由の一つが、この番組に携わる人数を減らせるワイド番組の大型化⇨長時間化にあるのを、毎日放送ラジオ局幹部は御存知ないのでしょうか？ 一人のパーソナリティーの声だけを長時間聴き続けるのは、どうしても飽きてしまうからです。
 7. いま聴取者が求めているラジオ番組は、「広く薄い」長時間のワイド番組ではなく、視聴率に左右されるテレビでは伝えにくい、伝えられない真実を「狭く深く」伝える「たね蒔きジャーナル」のような番組だと確信しています。
- 私たちは「たね蒔きジャーナル」の打ち切りに強く抗議するとともに、すみやかな番組の復活を要望します。そのため粘り強い努力を惜しまないことを、ここに表明します。その手始めとして、どれほど多くの人たちが「たね蒔きジャーナル」を愛し、今回の打ち切りを残念に考えているかを、放送最終日の9月28日午後9時にラジオを持って毎日放送前に集まり、毎日放送と多くの人々に伝えたいと、考えています。

相本芳彦（フリーアナウンサー） 秋池智子（東京ポランティア・市民活動センター）
李敬宰（高槻むくげの会会長・移民政策研究所理事） 石井彰（放送作家）
石原秀子（アムネスティ会員） 石丸次郎（ジャーナリスト・アジアプレス）
出井康博（ジャーナリスト） 稲本直（音楽企画制作）
井部正之（ジャーナリスト・アジアプレス） 今西憲之（ジャーナリスト）
岩崎貞明（放送レポート編集長） 岩崎文子 宇田有三（フォトジャーナリスト）
太田恭治（リパティおおさかの灯を消すな全国ネット事務局次長）
大山勝男（大阪日日新聞・週刊大阪日日新聞記者） 小田桐誠（放送ジャーナリスト）
片山通夫（フォトジャーナリスト） 金光敏（特活 コリアNGOセンター事務局次長）
茅原良平（日本大学講師） 鎌内啓子（フリージャーナリスト） 熊谷博子（映画監督）
桑川麻里生（慶応大学教授） 黒川創（作家） 小出裕章（京都大学原子炉実験所助教）
合田創（自由ジャーナリストクラブ事務局） 高賛侑（ノンフィクション作家）
河野秀忠（障害者問題総合誌 そよ風のように街に出よう 編集長）
古住公義（KBS京都アクセスクラブ事務局次長） 小玉美意子（武蔵大学教授）
小室等（ミュージシャン） 小山帥人（ジャーナリスト） 紺野望（放送ジャーナリスト）
斎藤貴男（ジャーナリスト） 斎藤弘美（メディアアプロデューサー）
斎明寺以玖子（女性 放送者懇談会・放送人の会会員） 坂上香（ドキュメンタリー映像作家）
桜井哲夫（東京経済大学教授） 里見繁（関西大学教授） 猿田佐世（弁護士）
下之坊修子（映像通信てくれ） 白石草（Our Planet TV）
辛淑玉（人材育成コンサルタント） 隅井孝雄（ジャーナリスト） 想田和弘（映画監督）
高瀬毅（ジャーナリスト） 刀川和也（ドキュメンタリー映画監督）
竹内由貴（映像編集者） 田中秋夫（放送批評懇談会会員） 田中惣二（電通OB）
田中典子（放送批評懇談会会員） 田場暁生（弁護士） 趙博（ミュージシャン）
全文子（市民） 筒井洋一（京都精華大学教授） 鶴良平（週刊アサヒ芸能編集部記者）
津田正夫（立命館大学非常勤講師） 中井信介（ビデオジャーナリスト） 中山千夏（作家）
西谷文和（フリージャーナリスト） 野口かなこ（専業主婦）
野崎清（メディアサロン・WNB） 野中章弘（ジャーナリスト・アジアプレス）
朴慶南（作家） 原一男（映画監督・大阪芸術大学教授） 菱木康夫（アムネスティ会員）
桧山珠美（フリーライター） 広田綾子（フリーアナウンサー） 福本高大（会社員）
藤井幸之助（コリアン・マイノリティ研究会） 藤久ミネ（放送評論家）
古木杜恵（ノンフィクションライター） 洪敬義（学校法人役員） 牧公子（元中学校教諭）
牧口一（NPO法人ゆめ風基金代表） 正森真由美（新日本婦人の会住吉支部事務局長）
松浦さと子（龍谷大学教授） 松田浩（メディア研究者） 松村厚（第七芸術劇場支配人）
三浦小太郎（評論家） 水野浩重（神戸市民） 三原治（放送作家） 宮本紀子（会議通訳）
向井徹（毎日新聞社出版局） 森達也（作家・映画監督） 森まゆみ（作家・編集者）
山口正紀（ジャーナリスト） 山田睦美（ラジオディレクター）
山中速人（関西学院大学教授） 山本友二（専門紙記者）
諸橋泰樹（フェリス女学院大学教授） 綿井健陽（ジャーナリスト）
渡辺実（防災・危機管理ジャーナリスト）

* 9月18日午後7時現在、92人